



科医院が多くなります。ということ  
で、歯科と薬局はこれまで近い関係  
ではありませんでした。

ところが！この春から薬学部の教  
育プログラムに「口腔ケア」が入ら  
しく、学生時代からお口の教育が始  
まるそうです。その流れで、薬局と歯  
科の連携という話になっていました。

今後、薬局でもお口の健康をチェ  
ックしたりアドバイスしたり、歯科  
を受診するよう促していききたいとい  
うことでした。そこで僕からは、薬局  
でお口のトラブルを見つける意味に  
ついてお話してきました。ちょっと

気になるのですぐに  
歯科医院に行くとい  
うのはハードルが高  
いので、一度薬局で  
相談できたりすると  
いいですよ。

そしてこの学会を通してわかった  
ことがもう一つ。他の職種から共通  
に「口の中のことは分からない」「全  
然わからない」と言われました。あま  
りにも多くの方に言われたので、僕  
たちが診療室でお話ししているのも  
皆さんどれくらい分かっておられる  
のだろう…と心配になりました。と  
言うことで、よりかみ砕いて説明す  
るようにします。

### 歯磨き能

それまではしっかり歯磨きしてい  
たのに、高齢になってから歯磨きが  
できなくなることがあります。実は  
歯磨きをするというのはすごい能力  
が必要で、それが衰えると歯磨きが  
できなくなるのです。

例えば認知能力。いわゆる認知症  
で歯磨きをすることがわからなくな  
ることもありますが、空間認知の問  
題もあります。自分自身で自分の歯  
は直接見えません。鏡がなければ見  
えないので、上下、左右の感覚が鈍く  
なるとブラシをうまく歯に当てられ  
ません。

また、手指の動きです。上下左右の  
歯にブラシを当てるために、必ずブ  
ラシを持ちかえているはずですが、一  
般の人では普通にできることですが、  
かなり巧みな動きなのです。ですか  
ら、箸が持てなくてスプーンでご飯  
を食べている人は歯ブラシもできて  
いないはずです。

介護されているような方はそうい  
う目を持って歯磨きをサポートして  
あげてくださいね。